

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年11月11日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ZOA

コード番号 3375 URL <http://www.zoa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 長嶋 豊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務本部長

(氏名) 伊井 一史

TEL 055-922-1975

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	5,923	△0.2	29	1,090.8	28	1,292.8	13	—
23年3月期第2四半期	5,938	1.1	2	△21.9	2	17.0	△22	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	663.95	—
23年3月期第2四半期	△1,045.90	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
24年3月期第2四半期	4,734		2,001		42.3	
23年3月期	4,760		2,029		42.6	

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 2,001百万円 23年3月期 2,029百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	2,000.00	2,000.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2,000.00	2,000.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	3.7	90	12.9	88	11.8	45	23.7	2,151.97

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(1)「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	22,965 株	23年3月期	22,965 株
24年3月期2Q	2,057 株	23年3月期	2,050 株
24年3月期2Q	20,909 株	23年3月期2Q	21,109 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中でありませ

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第2四半期累計期間	4
(3) 継続企業の前提に関する注記	5
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による低迷から徐々に回復しつつあるものの、欧米経済の先行き不安による世界同時株安や急激な円高が景気全般に深刻な影響を及ぼす状況で推移いたしました。

パソコン業界におきましては、電子情報技術産業協会（JEITA）の発表によりますと、出荷台数は前年同期比108.8%と増加したものの、単価下落の影響により出荷金額は96.8%と前年を下回る実績となっております。

このような状況下で当社では、パソコン本体の商品ラインナップの充実やタブレットPCの展開など顧客ニーズに合わせた商品展開の強化を図りました。これら施策により、PC本体の販売台数は前年同期比116.7%と増加しましたが、売上高は単価の下落に伴い前年同期比96.2%と減少しました。

その他、家庭内ネットワークの市場拡大による周辺機器の拡充や、スマートフォンの普及による関連商品の取扱いの強化に取り組みましたが、PC本体の単価下落の影響や市場規模が縮小しているDOS/Vパーツの需要減退により売上高が減少しました。

バイク事業におきましては、オイルなどのメンテナンス用品の売上が増加したものの、近年好調に推移してまいりましたポータブルナビの普及率が高まり、飽和状態となったため売上高が減少しました。

インターネット通信販売事業については、知名度と顧客リピート率の向上により、売上高は増加しております。特にパソコン本体の売上高が増加しており、全体を大きく押し上げる要因となっております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績については、売上高5,923,952千円（前年同期比0.2%減）、経常利益28,289千円（前年同期比1,292.8%増）、四半期純利益13,882千円（前年同期は四半期純損失22,077千円）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

・資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前期末に比べて26,169千円減少し、4,734,123千円となりました。

その主たる要因は、商品が53,610千円、有形固定資産が15,711千円、無形固定資産が6,658千円それぞれ減少し現金及び預金が66,607千円増加したこと等によるものであります。

負債については、前期末に比べて2,177千円増加し、2,732,972千円となりました。その主たる要因は、買掛金が202,998千円、長期借入金が125,836千円それぞれ減少し、短期借入金が300,000千円増加したこと等によるものであります。

純資産については、前期末に比べて28,347千円減少し、2,001,151千円となりました。この結果、当第2四半期会計期間末における自己資本比率は42.3%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の業績予想に関しましては、平成23年5月13日付「平成23年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」にて公表いたしました業績予想を修正いたしました。業績予想の修正内容につきましては、平成23年11月4日に公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

通期の業績予想に関しましては、円高の進行やタイにおける洪水災害の影響等による経済の今後の先行き不安を勘案し、平成23年5月13日に公表いたしました業績予想は変更いたしません。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

② 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	917,640	984,248
売掛金	300,780	298,381
商品	2,005,428	1,951,818
その他	131,402	118,668
貸倒引当金	△4,873	△3,389
流動資産合計	3,350,378	3,349,727
固定資産		
有形固定資産		
土地	654,403	654,403
その他(純額)	314,318	298,606
有形固定資産合計	968,721	953,010
無形固定資産		
投資その他の資産	20,562	13,903
その他	420,630	418,960
貸倒引当金	—	△1,478
投資その他の資産合計	420,630	417,482
固定資産合計	1,409,914	1,384,395
資産合計	4,760,293	4,734,123
負債の部		
流動負債		
買掛金	954,661	751,663
短期借入金	—	300,000
1年内返済予定の長期借入金	451,673	464,173
未払法人税等	7,080	18,428
賞与引当金	38,689	38,799
ポイント引当金	24,124	19,192
その他	104,342	122,912
流動負債合計	1,580,571	1,715,168
固定負債		
長期借入金	1,047,656	909,320
長期末払金	24,249	24,249
退職給付引当金	78,317	84,234
固定負債合計	1,150,223	1,017,804
負債合計	2,730,795	2,732,972
純資産の部		
株主資本		
資本金	331,986	331,986
資本剰余金	323,753	323,753
利益剰余金	1,516,014	1,488,067
自己株式	△142,255	△142,655
株主資本合計	2,029,498	2,001,151
純資産合計	2,029,498	2,001,151
負債純資産合計	4,760,293	4,734,123

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	5,938,061	5,923,952
売上原価	5,007,010	5,010,361
売上総利益	931,050	913,590
販売費及び一般管理費	928,587	884,259
営業利益	2,462	29,331
営業外収益		
受取手数料	6,529	6,769
その他	2,321	795
営業外収益合計	8,851	7,564
営業外費用		
支払利息	8,900	8,548
その他	382	58
営業外費用合計	9,283	8,606
経常利益	2,031	28,289
特別損失		
固定資産除却損	1,184	—
減損損失	257	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	13,245	—
特別損失合計	14,686	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△12,655	28,289
法人税等	9,422	14,406
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△22,077	13,882

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。